

第2回 西口駅前広場検討部会の要点整理

1. 蒲田駅周辺再編プロジェクト
[西口駅前広場の初動期整備]
 西口駅前広場の現況課題解決のための基盤施設整備について整理

- 1) 広場北側歩道部の歩行者動線改善と歩車道段差解消
- 2) 広場南側のフラット化と歩車道段差解消
- 3) 交通島歩行者動線の改善

蒲田駅西口のまちづくりと連動した基盤施設整備の必要性

2. 西口駅前空間づくりの方向性
 西口駅前広場周辺の現況と課題、西口周辺の特徴を整理し、西口駅前空間に求められるまちづくりの方向性を設定

クオリティの高いまち

- 1) にぎわいのまち
- 2) 清潔感のあるまち
- 3) 個性が感じられるまち
- 4) 安心・やすらぎのあるまち

4つのキーワード

景観アドバイザーの意見を踏まえた整理

A. 色彩の考え方
周辺と競合せず、汚れが目立ちにくい色調
 案 出会う交流などのにぎわいを表現した暖かみ・親しみのある色彩
 案 モノづくり蒲田のモダンさを表現した落ち着きのある色彩

B. 緑の考え方
歩行者環境の改善、緑のうるおいの創出、周辺建物や広告物へ配慮した植栽配置と緑陰空間の確保

- ・ 既存の高木を活用
- ・ 安全な歩行者動線と滞留空間における緑陰空間の確保


西口駅前空間づくりの方向性を踏まえた西口駅前広場の初動期整備

3. 西口駅前広場整備の方針
駅とまちのにぎわいを紡ぐ、人と環境にやさしい駅前広場

- 1) オープンスペース整備によるイベント、憩い、避難の場の確保
- 2) 歩車道段差解消、歩道改善による歩行者の円滑な移動と回遊性の向上
- 3) 植栽再配置による潤い創出、広場の演出、歩行者誘導動線の確保
- 4) 必要な情報の提供とわかりやすい案内誘導サインの設置
- 5) 環境に配慮した省エネルギー 設備の導入
- 6) 街路灯による広場の演出

4. スペース別の環境形成

北側：バス降車場方面と大学、専門学校方面を円滑に結ぶ歩行者空間づくり
 駅前：来街者への適切な情報提供等による駅出入口に集散する歩行者を円滑に処理する結節空間づくり
 南側：にぎわいや憩いを感じ、駅ビルから商店街へ円滑に結ぶ歩行者空間づくり
 西側：駅前広場の安全な横断と商店街をつなぐ歩行者空間づくり



5. 西口駅前広場全体イメージ（第2回提案）

A デザイン方針：スペース別を強調
 色彩の考え方：案 暖かみ・親しみ

B デザイン方針：一体感のあるデザイン
 色彩の考え方：案 落ちつき・清潔感

議論のポイント 1	全体イメージについて	P.3
議論のポイント 2	舗装（色調・材料）について	P.4-5
議論のポイント 3	植栽について	P.6
議論のポイント 4	照明について	P.7
議論のポイント 5	案内誘導サインについて	P.8

本日 第3回

議論のポイント1. 全体のイメージについて

西口駅前空間づくりの方向性 駅前のイメージ **“クオリティの高いまち・蒲田”**

西口駅前広場整備の方針 駅とまちのにぎわいを紡ぐ、人と環境にやさしい駅前広場

◇にぎわいのあるまち
◇清潔感のあるまち

◇個性が感じられるまち
◇安心・やすらぎのあるまち

デザインキーワード

- 歴史的
- 都会的
- 広場的
- 公園的
- モダン
- 先進性
- 風格
- 暖かみ
- 明るさ
- 落ち着き

1) 駅前空間デザインのコンセプト

全体のイメージ 参考事例

新橋駅



歴史的、モダン、暖かみ

川崎駅前広場（東口）



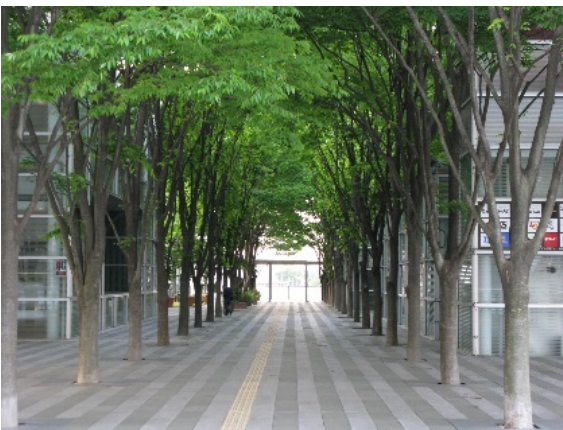
先進性、都会的

有楽町駅前広場（中央口）



先進性、都会的

さいたま新都心駅



都会的、広場的

横浜市 開港広場



広場的、風格、明るさ

自由ヶ丘駅



公園的、明るさ

武蔵小杉駅



暖かみ、落ち着き

全体のイメージをつくる
その他のストーリー
ファニチャー

【街路灯デザイン】



【ベンチ】・金属などの材質 ・木目調の材質



【モニュメント・デザイン】蒲田らしさを活かしたデザイン



江戸切子デザイン
(引用：国土交通省観光庁サイトより)

蒲田駅東口のポラード

・金属加工・硝子加工など個性的な“蒲田”デザイン（大田区内にある匠の技を活かしたデザイン）

議論のポイント2. 舗装（色調・材料）について

1) 舗装の方針

■全体方針

周辺建物や屋外広告物の色調と競合せず、安全性、環境・機能性、維持管理に優れた材料による舗装

■整備方針

- 歩きやすく滑りにくく、車椅子等の走行振動が軽減
- 汚れが目立ちにくい色調
- 環境に配慮した透水性のある材料の選定
- 補修しやすい材料の選定

2) 公共的な空間に使用される舗装材料の特徴整理

・以下の代表的な5種類の舗装材料の比較整理より、プランの自由度・デザイン性、歩きやすさ・安全性、維持管理などの観点からコンクリートブロック（平板）による整備の検討を深める。

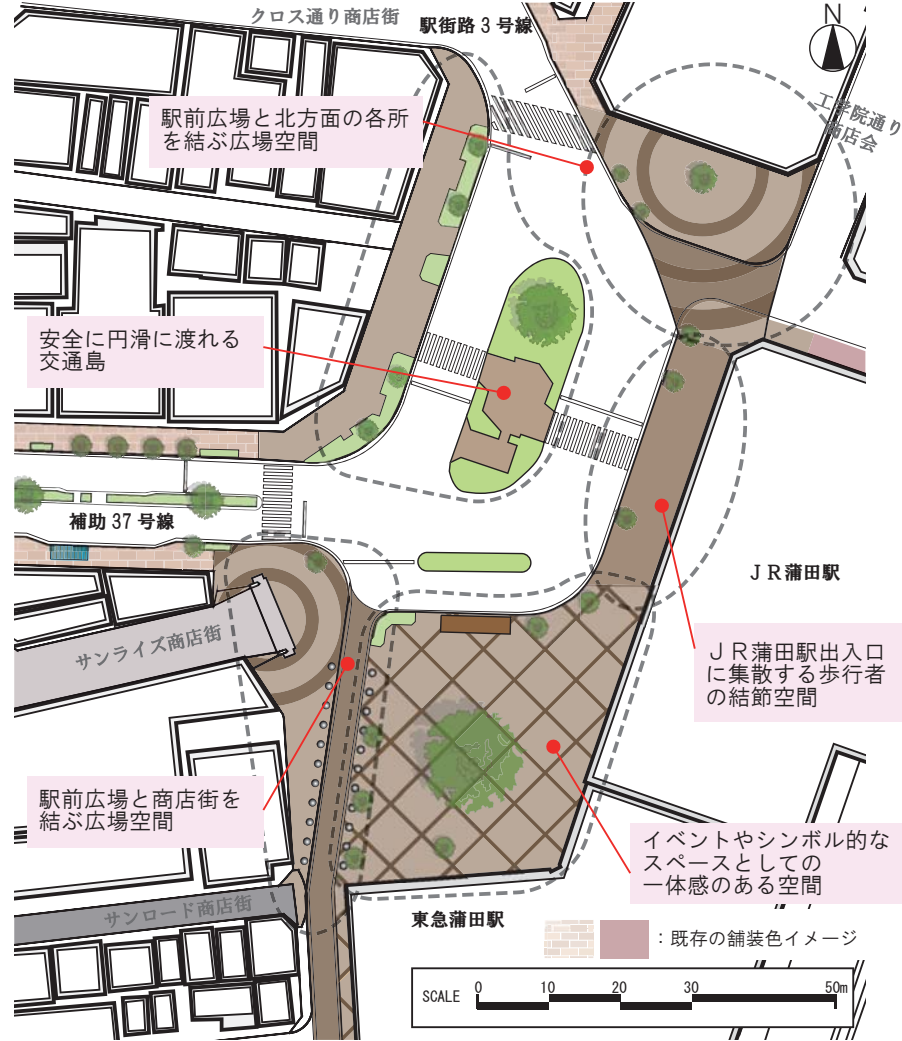
舗装材種類 (素材)	コンクリートブロック (平板・インターロッキング)	レンガブロック (輸入・国産)	セラミックブロック	自然石・タイル貼り	カラーアスファルト 顔料・自然石タイプ	
イメージ						
主な特徴	○自然色調、カラーバリエーションが豊富。 ○プランの自由度が高い。 ○施工実績も多い。 ○:メリット ●:デメリット	○焼物特有の自然な色調は様々な景観に調和する。 ●比較的歩行感は良好だが、段差や凹凸は生じやすい。	○硬質で、汚れにくい。 ○高級がある ●雨天時に滑りやすい。	○自然石には本物のもつ高級感がある。 ●石材は色により入手困難になりつつある。 ●色ムラが発生する場合がある。 ●雨天時に滑りやすい。	○段差ができていく。 ○施工実績も多い。 ●経年変化により表面が荒れる事がある。 ●高級感には乏しい。 ●補修時に課題が残る。	
環境・機能性 (透水性)	○	○	○	×	○	
耐久性	強度	○	○	○	○	
	耐候性	○	○	○	△(白色化あり)	
	耐衝撃性	△	△	△	○	
安全性	段差、凹凸 (※インターロッキング△)	○	△	△	◎	
	すべり抵抗	◎	○	△	○	
デザイン性	◎(豊富な色と仕上げ)	○(自然な色調と肌合い)	○	◎	△(色彩は限定)	
維持管理	部分補修	◎(再利用可能)	◎(再利用可能)	◎(再利用可能)	×(再利用不可)	△
	補修後 均一性	△	○	△	○(タイル)	×(色の变化あり)
	耐汚染性	△	△	◎(再利用可能)	○	△
	清掃の 容易さ	△	△	○	○(タイル)	△

3) コンクリートブロック舗装の種類と特徴

種別	イメージ (色についてはあくまでも参考です)	特徴	総合 評価
研磨 平板		○目地が少なく歩行性に優れている ○研磨仕上げにより色あせしにくく、汚れにくい	◎
バリア フリー ペイブ		○目地部分の凹凸や施工後の段差をなくし、均一の振動により快適な歩行や走行ができる ●自然骨材ではないため、単色になる。(複数色の組み合わせでデザインを表現)	◎
洗出し 平板		○自然で明るい仕上げになる。色あせしにくい ●砂利のような仕上がりでガムなどのゴミが取りにくい	○
インタ ーロッ キング		○波型や摩擦抵抗を高めるためサイズの小さいものが主流 ○景観性には劣るが安価 ●経年変化後に凹凸や段差が発生する可能性がある	△

案1：暖色系

・出会いや交流などのにぎわいを表現しながらも、誘導用ブロックの輝度比に配慮した明るめの暖色を採用

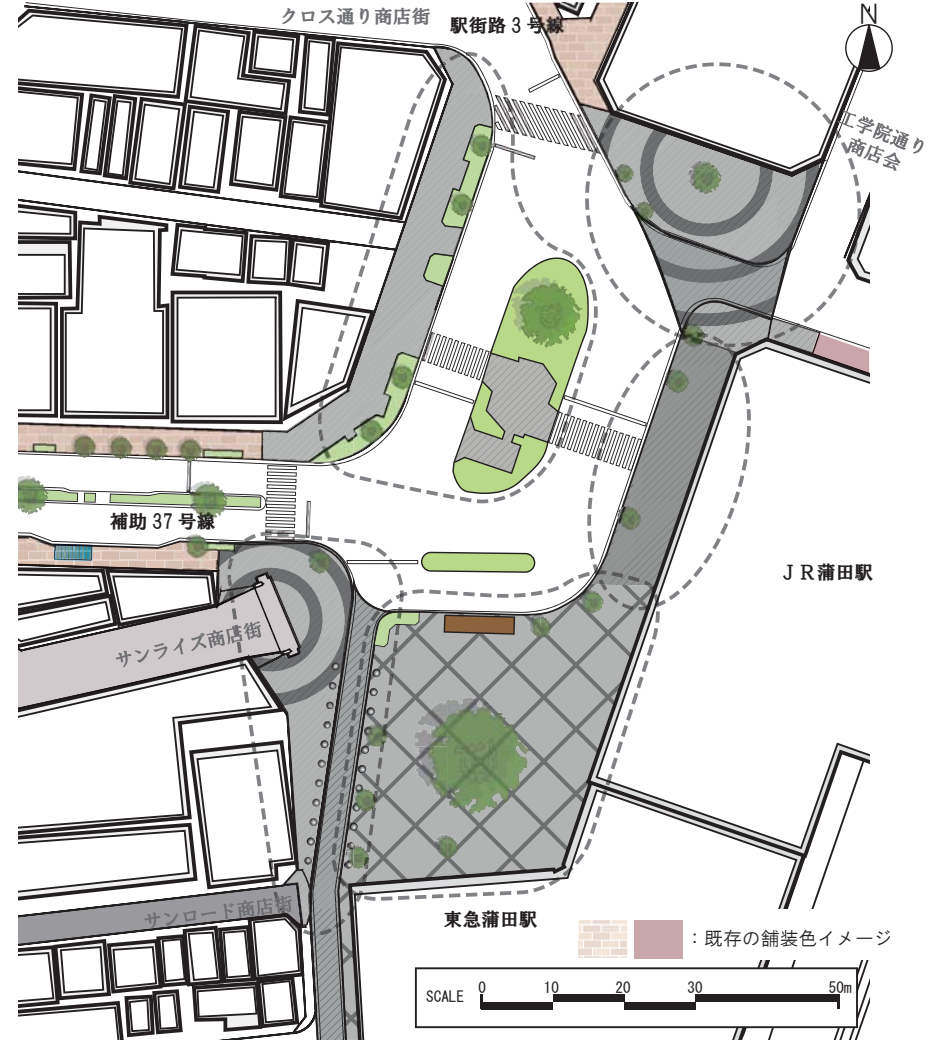


舗装イメージ



案2：無彩色系

・駅周辺の多様な色彩に配慮した落ち着きのある色を採用



舗装イメージ

